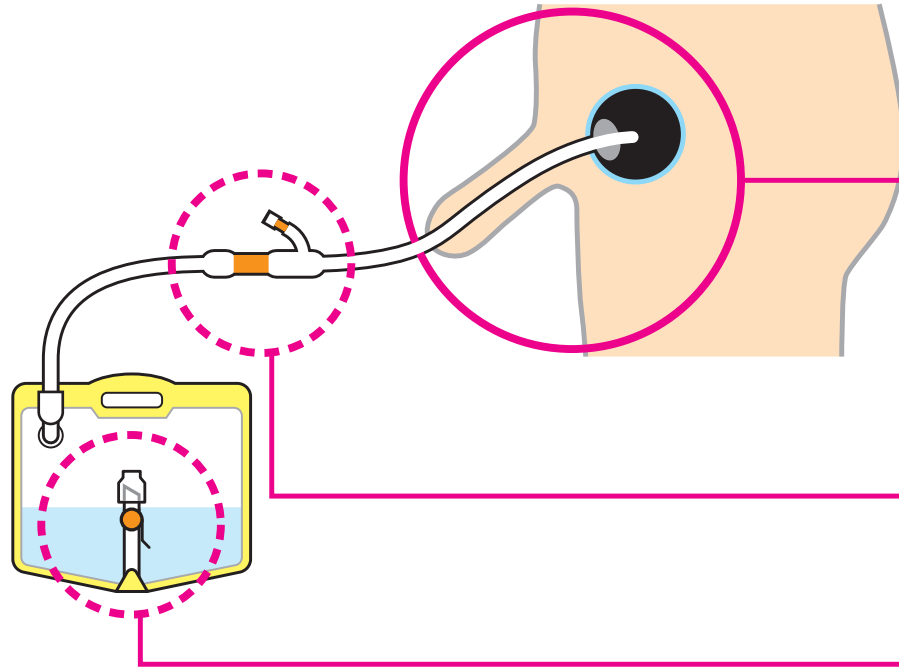


【膀胱留置カテーテルの感染ルート】



カテーテルの外側を通るルート

- 挿入時、膀胱内に菌が押し込まれて侵入
- 会陰や直腸に定着している菌が侵入

カテーテルの内側を通るルート

- 接続部の閉鎖が破られ、菌が侵入
- 排出口から菌が侵入して尿を汚染
- バイオフィルムの形成による菌の放出

参考文献:ベストプラクティス NEW感染管理ナーシング/株式会社学研メディカル秀潤社 2006

膀胱留置カテーテルの素材比較

	シリコン製	ラテックス製
生体反応	ほとんど不活性	ラテックスアレルギーがある
内腔	尿の流れる内腔がラテックスより広く成形	
色	ほぼ透明(尿等の流れが観察可能)	茶色(外部からの観察不可)
X線造影	位置確認可能	不可

その他、シリコン製の特徴

- ◎カテーテル自身への尿成分の析出、付着が少ない。(撥水性を有する)
- ◎耐熱性、耐老化性に優れており、ひびわれ、変色等、変質が少なく、長期保存に耐える。
- ◎冬季に硬化しない。

以上より、シリコン製は、生理的に安定で、詰まりにくく、経時変化がない為、中長期留置にご使用されております。